

備風

BI

FU

2016・3月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL.45

掲示板（事業活動）

第13回全国環境連全国大会

平成27年10月30日 大分市 ホテル レンブラント大分

第13回全国大会は「未来環境への責任～人と浄化槽が出来ること～」をメインテーマに、講演会、大会式典、懇親会が開催された。

講演会はず、環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部廃棄物対策課長 和田篤也氏から「廃棄物・リサイクル対策に係る最近の動向～災害時における廃棄物対策等～」と題して講演をいただいた。東日本大震災の教訓として、「備えていたことしか役に立たなかったが、備えていたことが十分ではなかった。」との事実から、円滑かつ迅速な処理及び適正な処理と再利用の確保を実現するための事前の備えの重要性を認識した。

また、公益財団法人日本環境整備教育センター理事国安克彦氏から「大分県における生活排水の現状と今後について」と題して講演をいただいた。講演では、生活排水処理施設の更新事業を含む整備計画の見直しに際し、必須の判断材料となる地方自治体における「人口減少と高齢化の進展」、「市町村の財政状況」、「下水道事業が財政に及ぼす影響」について説明をいただいた。

大会式典では河野正非常任理事が転換業務（補償）の獲得やPFI事業による浄化槽市町村整備促進事業の維持管理については、「合特法」の趣旨に沿い市町村において適切な措置を講じるよう求めるなど6項目の政府に対する要望決議を發表した。

懇親会では、大分市議会の永松弘基議長、地元選出の穴見陽一衆院議員、衛藤晟一参議院議員、磯崎陽輔参議院議員の4名から心温まる激震の祝辞を賜った。閉会に際し、島根県環境整備事業協同組合理事長の野津勝男理事が次回の全国大会は島根県で開催することを宣言し、盛会裏に終了した。

松本宏行



マイナンバー研修会

平成27年10月5日 岡山市 岡山県環整協研修室

平成28年1月からのマイナンバー制度運用開始にあたり、税理士法人鈴木税務事務所の中野隆志税理士を講師に招き、マイナンバー制度の概要および取り扱いにおける注意点等についての研修会が実施された。

まず、おおまかな制度の仕組みや利点、活用法についての簡単な説明の後、マイナンバー利用に伴う個人情報の取り扱いとその安全管理措置について重点的の説明。

主な内容として、従業員等からマイナンバーを取得する際の注意点とその情報の取扱について。また、情報漏洩によって受ける罰則や企業のリスクを避けるため、取扱規程の策定を行い、組織的・技術的の安全管理措置を講じなければならないこと。などの具体的な説明があった。

最後に中野氏は「事業者はマイナンバー及び特定個人情報の適切な取り扱い、安全管理措置を義務付けられている。制度施行を機に、情報セキュリティ管理体制の強化を行うように」と締めくくった。

マイナンバー制度という新たな個人情報保護制度の施行に伴い、情報管理の意識を高められた研修会となった。

吉岡隆司



第12回全国環境連青年部研修会

平成27年11月27日 熊本市 熊本ホテルキャッスル

講師に九州大学農業資源経済学部教授矢部光保様、築上町前産業建設課長田村啓二様をお招きし、御講演を賜りました。矢部教授は「バイオマスの有効利用と地域創生」という演題で実際に九州のある地域で計画されていた地域から排出される一般廃棄物を有効利用し廃棄物処理の経費削減を図るため、湿式メタン発酵でのバイオガスプラントの最先端技術の紹介と経済性についてご講義を賜りました。また、廃棄物をナノレベルまで粉砕することで、ガスの発生量を増加させ、発電効率を高める計画で、FIT制度を利用し、売電収入を得られるなど、事業の黒字化に向けた具体的な数値を示すことで、より実用化に近い事業参入へのモデルも示していただきました。また、その事業は国内のみならず、実際にNGOとの連携事業を例に、海外の途上国においても大変有益で、食糧問題と肥料資源の確保、廃棄物問題を緩和することができ、業界を含めた連携が必要であると話されました。田村前課長は「自治体職員は何を考えているのか」という演題で長年地域行政にて廃棄物処理『特に国内でも先進的に町内より排出される汚泥を液肥化し農業振興を図り廃棄物処理原価を削減したこと』に関わった経験を通して、庁舎内の課ごとの「俗に言う縦割りの問題」など具体的な事例を交えながら、行政は新しいことは基本的に好まないが有効的な関係を持つことでやる気をもたせて行って欲しいと話されました。若手青年部が共に学び、必要にいち早く気づき、行政と連携し携わる地域に変化と改革をもたらすことの重要性を再認識する機会となりました。



牧一穂

岡山県環境整備事業協同組合及び政治団体環整連岡山県支部合同新年会

平成28年 1月29日 岡山クラウンプラザ ANA ホテル

乗藤理事長の新年の挨拶では、「今年度50周年を迎える組合員と当組合関係者に感謝の意を伝えられ、記念式典・祝賀会への参会を呼びかけた。又画期的な判決を受け環境省から出され、「一般廃棄物処理計画を踏まえた廃掃法の適正な運用について」との通知の趣旨が関係機関に十分に理解されるよう、組合として周知徹底していくこと」を強調した。続いて岡山県浄化槽団体協議会、八田富夫会長は「浄化槽と下水道について言及し、我が国の財政状況からみても浄化槽のさらなる普及を組合員が各自自治体へ訴えかけていくことが重要である」と呼びかけた。また来賓の山下貴司衆議院議員からは、岡山県の適正管理に対する取組みを称賛していただき、われわれは浄化槽法及び岡山県浄化槽水質管理実施要綱に基づいた適正な業務の遂行はもちろんのこと、新たな時代の浄化槽整備および地元行政との連携に一層の努力を惜しまないと決意をあらたにした新年会となった。



益本麻衣

行事予定

平成28年 2月15日	50周年記念事業実行委員会（第7回）（組合会議室）
2月19日	全国環境連「内部組織等の再検討に係るプロジェクト会議」（東京）
3月3日	全国環境連事務局長会議（東京）
3月7日	組合創立50周年記念式典・祝賀会（岡山市）
3月16日	全国環境連第6回理事会（東京）
3月22日	組合第6回理事会・常任会（組合事務所）
3月28日	全国環境連中国地区協議会第6回理事会（岡山市）
5月11日	組合第1回理事会・常任会（組合事務所）
5月18日	全国環境連第1回理事会（東京）
5月25日	組合通常総会（岡山市）
6月3日	全国環境連中国地区協議会第1回理事会（岡山市）
6月15日	全国環境連通常総会（東京）
6月24日	全国環境連中国地区協議会通常総会・第2回理事会（岡山市）
7月20日	全国環境連第2回理事会（東京）
7月27日	組合第2回理事会・常任会（組合事務所）
8月3日	全国環境連中国地区協議会第3回理事会（岡山市）

シリーズ第42回 水とくらし

乗藤 昭範

命と暮らしをささえる水。蛇口から水が出るのはあたりまえの生活になっているが、蛇口から出てくる水がどこからやってくるのか、また使った後の水がどこへ行くのか？ そんな質問を小学4年生にすると、「そういえば、どこから来るのだろう？ どこへ行くのだろう？」と、答えることができない児童がほとんどである。

蛇口から出てくる水は直接目で見る事ができるが、蛇口より前の水道管、配水池、浄水場、ダム、山地に降る雨などや、蛇口から後の排水管、浄化槽、下水処理場、河川、海

などは、蛇口から出てくる水を見ても見えてこないし、岡山県だと中国山地から瀬戸内海までの壮大な水の長い旅になり、児童にとって水の長い旅の全体像をつかむのは困難であろう。だから質問に答えることができないのも無理もない。

ではどうやったら、児童が壮大な水の長い旅の全体像をつかむことができるのだろうか？

このことを原点に昨年度から、各地の小学校で「水の環境学習」をはじめました。

壮大な水の長い旅の全体像をつかむことができるように、中国山地から瀬戸内海までの水の長いたびをコンパクトにまとめ、実際、中国山地に雨が降り、ダムに水がたまり、河川に水が流れ、浄水場から配水され、使った後の水は浄化槽や下水処理場できれいにされ、また河川に戻り、瀬戸内海に流れ込むジオラマを作製し、そのジオラマを使って、児童たちが直接目で見て触れ体感でき、また自分たちで考える「水の環境学習」をはじめました。

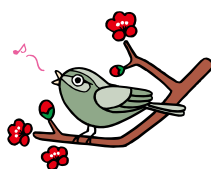
この「水の環境学習」をとおして、児童たちに、かざられた水を大切に使うための工夫や、きれいな水、きれいな水環境を守り続けるために自分たちに何ができるのか考えてもらい、また、次世代を担う児童たちに少しでも環境を守るための動機付けができ、環境を守っていく輪が広がってほしいと思っています。

活 動 報 告

27. 8. 28	青年部クリーン作戦（組合会館）	11. 5	岡山県中小企業団体中央会創立60周年記念大会で受賞（岡山市、組合：岡山県知事表彰、青年部：全国会長表彰）
9. 5	事業部事業（高速道路水質保全管理担当者会議）（組合事務所）	11. 12	自由民主党岡山県議団へ浄化槽関係の要望書提出
9. 8	全国環境連「内部組織等の再検討に係るワーキンググループ会議」（東京）	11. 12	民主党岡山県連へ浄化槽関係要望書を提出
9. 12	コンビエンスストア浄化槽の維持管理に係る実態調査のための打合せ会議	11. 16	全国環境連「政府に対する要望書」の提出（東京）
9. 16	全国環境連第3回理事会（大分市）	11. 16	50周年記念事業実行委員会（第6回）（組合会議室）
9. 18	（一社）岡山県浄化槽団体協議会臨時総会及び第6回総会（岡山市）	11. 17・18	岡山県貯水槽清掃作業従事者研修会（組合研修室）
9. 29	組合理事会・常任会（組合事務所）	11. 25	全国環境連第4回理事会（鳥取県米子市）
10. 1	第29回全国浄化槽大会（東京）	11. 27	第12回全国環境連青年部研修会（熊本市）
10. 5	マイナンバー制度研修会を開催（組合研修室）	12. 3	全国環境連中国地区協議会第4回理事会（岡山市）
10. 6	50周年記念事業実行委員会（第5回）（組合会議室）	12. 9	組合理事会・常任会（組合会議室）
10. 14・15	第29回全国浄化槽大会（東京）	28. 1. 5	新年あいさつ（岡山県知事、岡山市長）
10. 19	事業部高速道路安全講習会実施（真庭市）	1. 6	新年あいさつ（倉敷市長）
10. 20	西日本高速道路(株)中国安全協議会会長表彰受賞（広島市）	1. 13	全国環境連第5回理事会・新春懇談会（東京）
10. 27	第1回組合臨時常任会開催（組合会議室）	1. 15	（一社）岡山県浄化槽団体協議会理事会及び事務局長合同会議（岡山市）
10. 28	倉敷市へ「第2次倉敷市一般廃棄物処理業等合理化計画」に対する要望提出	1. 20	浄化槽保守点検・清掃委員会及び適正業務指導委員会を開催（組合事務所）
10. 28	岡山県地方保証制度委員会へ出席（岡山検査センター会議室）	1. 22	全国環境中国地区協議会第5回理事会（岡山市）
10. 29	全国環境連臨時理事会（大分市）	1. 29	組合理事会・常任会・新年会（岡山市）
10. 30	全国環境連第13回全国大会（大分市）	2. 5	岡山県合併処理浄化槽普及促進協議会研修会（岡山市）
		2. 5	全国環境連中国地区協議会青年部研修会（米子市）

編集後記

地域特性を活かした污水处理が必要になります。浄化槽の役割も増々大きくなっています。維持管理、清掃、検査を通じて社会に貢献していきましょう。



BIFU

Vol.45

発行日 平成28年 3月16日
 発行 岡山県環境整備事業協同組合
 編集 機関紙担当理事 寺尾 邦弘
 住所 岡山市南区山田291-2
 tell/fax 086-282-6455/086-282-6685
 E-mail okakan01@poem.ocn.ne.jp
 印刷 (有)エーピープランニング